

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 22 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 9 月 20 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(日本語名) University of California, Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025 年 6 月～2025 年 9 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 1 月～6 月 2 学期: 9 月～12 月 3 学期: 4 学期:
学生数	約 30,000～40,000 人
創立年	1919 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 147.93 円)	B 日本円	備考
授業料	6,160.00	円	
宿舍費	5627.66	円	
食費		227,542 円	
図書費		円	
学用品費		5,496 円	
携帯・インターネット費		17,790 円	eSIM 代
現地交通費		90,158 円	Uber 代(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		166,748 円	
旅費(留学中)		168,582 円	ラスベガス、サンフランシスコ
被服費		35,353 円	
医療費		円	
保険費		35,380 円	形態: 明大サポートを通じて加入
渡航旅費		88,210 円	
ビザ申請費		83,292 円	
雑費		21,811 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	11,787.66 (=1,743,749 円)	940,362 円	
総計(A+B) ※円		2,684,111 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田空港 目的地：ロサンゼルス空港 経由地：	
復路 出発地：ロサンゼルス空港 目的地：成田空港 経由地：	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ANA 料金：88,210	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：ANA) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：Olympic Hall) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
留学先機関が斡旋	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
UCLA はアメリカの大学でも寮のご飯が美味しいことで有名だそうで、実際、味は悪くありませんでした。ただ、夏休み期間ということもあり全ての食堂が開いているわけではないこと、ミールプランに含まれているのは週 14 食だけ、という点に注意が必要です。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地在住の知り合いがいたので、その人に話を聞きました。スマホには肩や手首にかけられるストラップをつけておきました。外出時はチャックなどで完全に閉められるバッグを持ち歩き、移動中は視野に荷物を収め、チャックなどは手で押さえる。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内は Wi-Fi があり、不自由なく使えていました。eSIM を購入していき、外出時のインターネット利用も問題ありませんでした。アメリカの携帯電話番号が付与されるタイプの eSIM の方が便利だと感じる事が何度ありました。有名な観光地やデパートは Wi-Fi を使えることが多いです。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

空港で両替した現金を少し持っていき、基本的にはクレジットカードを使用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

大抵のものは現地で揃います。個人的には、洗濯ネットは持って行った方がいいと思います。その際、自分の服の形状や量をきちんと考えて、適切な数・サイズのネットを持って行かないと洗濯が面倒くさいです。学生証やルームキーなどカード上のものを出し入れする機会が多いので、首から下げられるカードケースを持っていると楽です。野球観戦やライブに行こうと考えている人は、透明なバッグが必須です。クリアバッグがないと、すべての荷物をポケットに入れたり、ジップロックをバッグ代わりにしたりする羽目になります。冷水機があるので、水筒を持っていくといいと思います。お手洗いか洗う場所がないので少し大変ですが、あると便利です。私は洗うのが楽かと思い、タンブラーを持って行ったのですが、持ち運びが少し面倒くさかったので水筒の方がいいと思います。インスタント食品もあるといいです。現地でも売ってはいるのですが、日本で買うよりかなり高いので、持って行った方がいいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払いしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Public Speaking	
科目設置学部・研究科	ESL(English as Second Language)
履修期間	6/23～8/1
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Lord P.F.
授業内容	プレゼンテーションやディスカッション・リーディングなど、人前で英語を話すときに注意すべきこと(発表の構成、ボディー・ランゲージ、スライドの構成など)を学び、実際にクラスでプレゼンテーション等を行うことで、その定着を目指す。
試験・課題等	プレゼンテーション 3 回、クラスメートへのピア・レビュー提出、ディスカッション・リーディング 1 回、期末試験なし
感想を自由記入	英語 4 技能のうち、スピーキングに特化した授業です。とにかく人前に立って話す機会が多いため、発言するのが苦手な人にはきついと思います。プレゼンテーションの準備は大変ですが、グループワークはなく全て個人作業なので、自分のペースで進めることができます。その分、友達を作りにくいかもしれません。プレゼン準備以外にこれといった課題が課されることはありません。 また、同じ名前の授業が 8/4～9/12 の期間でも開講されていたのですが、友人から話を聞いたところ、先生が違ったからか授業の進め方や評価方法が多少異なっていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Music Industry Fundamentals			
科目設置学部・研究科	Music Industry		
履修期間	6/23～8/1		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Paul J.		
授業内容	音楽産業における、アーティストの競争戦略や新たなアーティストの発掘について学ぶ。制度や理論・過去の変遷などを講義形式で学ぶ回と実際にゲストスピーカーが来て教授との対話形式で彼らの仕事について学ぶ回がある。		
試験・課題等	音楽産業で働く人へのインタビュー動画を見てコメントを書く、授業内容・教科書に関する小テストに回答する(オンライン)、アーティスト・リサーチとそれに基づくプレゼンスライドの作成(1 回)、期末試験なし		
感想を自由記入	ゲストスピーカーが多く来るため、実際の業界の話を聞けるのは面白かったです。私は、マーケティングについて学べることを期待して履修したのですが、どちらかというと、ライブの取り仕切り方やアーティストとしての立場をどのように確立させていくかなどの話がメインでした。音楽業界に興味がない人には、もしかしたら退屈かもしれません。クラスメートのほとんどが音楽産業を専攻している UCLA 正規生で、アーティストとしての活動を既に始めている人も複数いました。そのため、早いテンポで授業が進み授業内での質問や議論も活発です。正直、英語を聞き取るので精一杯でしたが、教授がとてもいい人だったので授業が苦にはなりませんでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Conversation and Fluency		
科目設置学部・研究科	ESL(English as Second Language)	
履修期間	8/4～9/12	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回	
担当教授	Hirsh W.T.	
授業内容	ネイティブスピーカーへのインタビューやオリジナルのスキットづくりを通して、会話中での自然な英語表現やスラング、ボディーランゲージの使われ方を学ぶ。また、それらの内容に関してプレゼンテーションを行う。	
試験・課題等	インタビューの実施、その内容のトランスクリプション・分析、オリジナルスキットの台本作成・練習、期末試験なし	
感想を自由記入	英語 4 技能のうち、スピーキングに特化した授業です。中でも、文法や単語力よりも、ボディーランゲージやスラングなど「英会話」に重きが置かれています。グループワークが多いので、クラスメートと仲良くなりやすいです。クラスの全員が自分たちのような留学生なので、先生の英語も難しくなく、英語を聞き取るので精一杯ということにはならないと思います。友達を作りたい人や、フランクな英語をしゃべる機会が欲しい人にはぴったりです。逆に、正規生やネイティブスピーカーと仲良くなるのは難しいです(インタビューを通して仲良くなれることはあります)。また、最後に自分たちが作成したスキットをクラスの前で発表する必要があるので、そういうのが苦手な人は避けるのが無難です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Principles of Economics			
科目設置学部・研究科	Economics		
履修期間	8/4～9/12		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(オンライン)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 125 分が 2 回		
担当教授	Martner A.		
授業内容	経済学の基本的な概念(需要・供給など)について講義形式で学ぶ。		
試験・課題等	Problem Set(授業内で扱った内容に関する小問集合)4 回、中間・期末試験あり		
感想を自由記入	授業の内容自体はあまり難しくなく、どちらかというと英語の勉強のつもりで履修していました。次の 9 月から新たに UCLA に入学する正規生や高校生などが多く、年齢層が比較的若めです。オンラインなので通学がないのは楽なのですが、友達を作ることはできません。中間・期末試験はオンラインで行われ、全問題が択一問題なので、こちらもあまり難しくありません。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	TOEIC 受験(8 月)
	10 月 ～ 12 月	学内選考への申し込み(10 月)
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学先への出願(2 月)
	4 月 ～ 7 月	ビザ取得(5 月)、留学開始(6 月)
	8 月 ～ 9 月	帰国(9 月)
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

国際系の高校に通っていたのもあり、昔から英語に興味がありました。大学では、授業で英語に触れる機会があまり多くなかったため、もっと英語力を伸ばしたいなら留学が最適だと感じました。また、両親(特に母親)が留学に対して積極的で、様々なプログラムを見つけてきてくれたのも大きいです。英語圏に留学してみたいと思っており、せっかく行くなら聞いたことのある大学がよかったので UCLA を選びました。

留学先で出会ったほぼ全員が自分の将来について具体的かつ明確なビジョンを持っており、私も自分の将来について考え直すきっかけになりました。「なんとなく自分がやりたいこと」についてもっと深く知ろうという気持ちになりましたし、そこにいたるまでの過程と今の自分のギャップについても考えさせられました。

留学は、楽しいことも辛いこともいろいろあります。すべてを総括して、私は行ってよかったと思っていますし、行かせてくれた両親や制度を作ってくれた大学には感謝しています。また、「留学」と一口に言っても、留学先や時期・履修授業などによってその内容は様々です。迷ったら、最初は短期留学に参加してみて、自分にはどのような国・大学・気候が合っているのかを探ってみるのがいいと思います。